

「自分の好きなことをせんな損！」



今回お話を伺った
山本 清次さん

今回はご入居されて15年目の山本清次様（84歳）にお話を伺いました。

「仕事には誇りをもって」

13歳から電気工事の仕事をして、18歳で一人前の仕事を任せられました。国家試験にも合格して、25歳で班長になった時には部下を持ちました。責任がある朝早くから夜遅くまで働きましたよ。普段は新築の家に電気を引く仕事でしたが、人里離れたところでも、銀行の金庫でも、電気が必要ならどこへでも行きました。誰にでもできる仕事とは違いますから、現場ではいつも「仕事に責任と誇りをもって」と教えていました。

指導員になってからは、会社の学校で若い子達に実技を教えました。学歴がなくても人に教えて役に立てるのが嬉しかったですね。教えたことを好きになって「やりたい」と言ってくれる子がいるのもまた嬉しかったです。今でもOB会では現役の人達が「あなた達がいてくれたから今の会社がある」と言っていて大事にしてくれます。

思いもしなかった奥様の急逝

ゆうゆうの里には、美容師だった家内が入居しようと言いつい出、二人で入居しました。家内は入居後も「自分の方が長生きする。私があなたの世話してあげるわよ」と家のことを全部してくれていました。私もそう思っていました。家内に癌がわかり最後はこの診療所に入院しました。私は毎日病室に通いましたが、自分のことより見舞う私の世話ばかり焼いていました。前の晩も「その服、昨日も着てたやないの」「明日は着替えてくるわ」と私の服にまで文句言っていたのが、翌朝、急変してそのまま亡くなりました。

その日からは急に全部自分でしないといけないようになって大変でした。何を探すにしても家中の引き出しを開けて回って、外出時の服を選ぶのを職員に頼んだこともありましたが、でもやっていかんしやありませんから。今ではもちろん全部自分でできますよ。亡くなって1年が経った頃から、自分の好きなことをせんな損や、と思うようになりました。

“ななつ星”は最高！

私は鉄道が好きなんです。特にその車両がどんな造りになってるのかに興味があります。それに鉄道の旅での人のつながりですね。去年行ったJR

九州のクルーズトレイン“ななつ星”での旅行、これが最高の旅でした。車両は豪華な造りで、ラウンジではピアノの演奏までありました。内装も個室ごとに違います。一人で参加してい



車内のラウンジで乾杯



出発進行！

幕を持って手を振ってくれたり、車掌さんの恰好で発車の合図を出す体験をさせてもらったり。全部のことが特別で、こんな言うたら笑われますけど人生の宝、いう経験でした。今の暮らしはここに入居しようと言ってくれた家内のおかげです。家内は花が好きでしたから、毎週買ってきて供えています。花なんて触ったことありませんでしたけど、せめてものお返しです。